

令和3年度第6回基盤教育群教授会議事録

開催日時	令和3年9月29日 14:45 ～ 16:50
開催場所	Teamsによる遠隔会議
出席者	<p>(基盤教育群長) 平岡善浩 (教授) 河西敏幸, 郷古雅春, 須栗裕樹, 田邊信之, Timothy Phelan, 日渡祐二, 藤澤由和, Margaret Chang, Matthew Wilson, 山本まゆみ (准教授) 川井一枝, 木村三香, 小島さつき, 菅原謙, 仲宗根卓, 三浦幸平, 三好俊文 (講師) 佐藤麗 (助教) Matthew Nall</p> <p style="text-align: right;">構成員出席 20名/23名 (職位別 50音順, 敬称略)</p> <p>オブザーバー (特任教授) 畠山喜彦 (特任助教) 阿部晃成</p>
欠席者	(教授) 井上達志, 曾根洋明, 須田義人
事務局	佐藤学務課長 吉川GL 齊藤主査 今野主事 水戸主事
議事概要	<p>1 教授会議事録 議事に先立ち, 以下について確認がなされた。 ・令和3年度第5回基盤教育群通常教授会議事録の確認について</p> <p>(1) 第6回教授会の議事録署名人として, 平岡群長より, 川井准教授が指名された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 令和4年度科目担当教員配置および非常勤講師・特任教員任用計画について 平岡群長より, 科目担当教員配置および非常勤講師任用計画について資料に基づき説明された。今後, 各学群への調整・確認が必要であることから, 本件については継続審議とされた。以降は群長のもと, 調整が行われ, メール審議を経て, 10月15日までカリキュラムセンターへ提出することとされた。 あわせて平岡群長より, 特任教員の任用について, 資料に基づき説明され, 原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 新カリキュラムについて 菅原准教授より, 資料に基づき, 科目分野英語名・コード表記・科目英語表記・スタートアップセミナーⅠ・Ⅱのシラバス・読替表について説明がされ, 原案の内容にて, カリキュラム改編本部会議へ上申することが承認された。</p> <p>(3) 令和4年度時間割(案)について 平岡群長・三浦准教授より, 資料に基づき説明され, 原案をもとに今後各学群との調整を進める旨, 報告された。</p> <p>(4) 令和4年度総合型選抜入学者特別プログラムについて 平岡群長より, 資料に基づき説明され, 原案のとおり承認された。</p> <p>(5) 学外研修(リアル・アジア)(ヨーロッパ学外研修)について 曾根教授より口頭にて, 学外研修(リアル・アジア)について, マレーシアの新型コロナウイルス感染者数の動向を踏まえ, 先方のサンウェイ大学より今年度の実施が不可との回答がなされたこと, また, オーストラリアのサザンクロス大学より, 国際往来再開の見当がつかず, オンライン開講の提案がなされたが, 当初の到達目標の達成が難しいため, 同大学とのオンラインプログラムについては, 以降, CIEOSの行事として2週間程度のプログラムを企画することで調整を進めたい旨, 説明された。 また, 山本副群長より口頭にて, 学外研修(ヨーロッパ学外研修)について, 若年層の重症化が確認されている新型コロナウイルス感染症の変異株が広がるなかでの研修は学生・教員の身体への危険を伴うこと, 加えて, 万が一研修中に学生または教員に感染者が発生した場合, 行程に大幅な変更が生じるため, 当初の予定プログラムを実施することができないことが説明された。 以上の説明を受け, 学外研修(リアル・アジア)(ヨーロッパ学外研修)は令和3年度閉講とすることが承認された。</p>

(6) 短期留学生(トゥルク応用科学大学)受入に係る科目の提供について
平岡群長より、資料に基づき説明され、基盤教育群からは「学外研修(担当：山本教授)」,「全学自由ゼミ(担当：Phelan 教授)」を提供することが承認された。

3 報告事項

- (1) 令和4年度短期語学留学プログラムの実施について(協力依頼)
企画・広報G 齊藤主査より、資料に基づき、プログラム実施にかかる協力依頼がなされた。
今後、正式に基盤教育群所属教員へ依頼がされる場合には、教授会にて諮ることとされた。
- (2) 産学連携講座 I・II について
平岡群長より、口頭にて、対象となる企業との調整状況について報告がなされた。

議事録署名

氏名 平岡 善浩

氏名 川井 一枝

以上